PERSOL NEWS RELEASE

2026 年 11 月 12 日
パーソルイノベーション株式会社

研修 3 か月後も「66.7%が学びを業務で活用」、実際の事業テーマで企画を具体化
『ビルスピアカデミー』、事業開発人材育成の支援成果を公開
～メンバー・管理職・役員をつなぎ、事業を育てる組織づくりを支援～

「はたらいて、笑おう。」をビジョンに掲げるパーソルグループのパーソルイノベーション株式会社 ビルスピカンパニー（本社：東京都港区、ビルスピカンパニー代表：片岡 秀夫）が運営する、実践型のオーダーメイド研修でDX人材を育成する『ビルスピアカデミー（旧：TECH PLAY Academy）』（https://www.buildspi.jp/ ）は、大手電機メーカー向けの事業開発人材育成支援事例を公開しました。
本事例では、新規事業のアイデア創出にとどまらず、その後の検証や事業化に向けて企画を磨き続けるための育成プログラムを実施。企画を担うメンバーだけでなく、企画をレビューする管理職・レビュワー、意思決定を担う役員までを対象に、事業の種を組織として育てるための仕組みづくりを支援しました。



■支援事例公開の背景
企業における新規事業創出の取り組みにおいては、事業アイデアを生み出す人材の育成に加え、それらを適切に評価し事業化につなげる組織づくりも求められています。一方で、提案者と評価者との間で事業開発に関する共通認識や評価基準を持つことが難しく、アイデアの具体化や事業化に向けた検討が進みにくいケースもあります。
今回公開した事例では、大手電機メーカーにおける、メンバー・管理職・役員を対象とした事業開発人材育成の取り組みを紹介しています。

■本事例のポイント
1. 事業をつくる人と育てる人を同時に育成
事業開発を担うメンバーだけでなく、管理職や役員も育成対象とし、事業の創出から評価、意思決定までを組織全体で支える体制づくりを目指しました。

2. 実際の事業テーマを用いた実践型プログラム
自社の事業テーマを題材に、顧客課題の整理から事業モデルの構築、検証計画の策定までを一貫して実践。学んだ内容をそのまま実務へ活かせる設計としました。

問い合わせ先 パーソルイノベーション株式会社 広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp

3．レビューから意思決定までを学習プロセスに組み込む

企画立案だけでなく、レビューによる磨き込みや役員への発表までを一連のプロセスとして設計。企画を生み出す力と、それを育てる力の双方の向上を支援しました。

■相談時の状況

「事業の種を、組織としてどう育てるか」

今回のプロジェクトは、新規事業のアイデアを生み出し、その可能性を見極め、磨き込みながら次の検証へ進めていく力を組織全体で高めたいという課題意識からスタートしました。

目指したのは、企画を担うメンバーだけでなく、管理職や役員も含め、組織全体で事業の種を育てられる状態です。メンバーには顧客課題や提供価値を具体化し、事業仮説を構築・検証する力を、管理職には対話やレビューを通じて企画を磨く力を、役員には事業の可能性を見極め、挑戦を後押しする力が求められていました。

一方で、事業開発に関わる立場ごとに求められる役割や視点が異なるため、企画の評価や意思決定の場面で認識のずれが生じやすいという課題がありました。

そこで本プロジェクトでは、企画を生み出す側と、レビューや意思決定を担う側が共通の視点で事業を議論できる状態を目指し、各層の役割や育成要件を整理。そのうえで、事業開発人材の育成と、事業の種を組織として育てる仕組みづくりを支援しました。

■支援内容

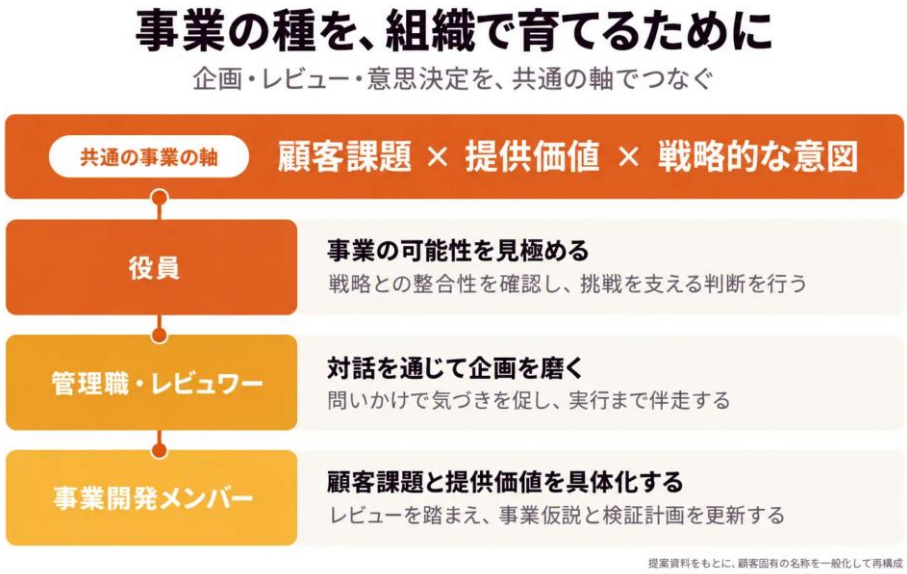
事業を生み出す人と育てる人をつなぐ育成プログラムを設計

本プロジェクトでは、「顧客課題」「提供価値」「戦略的な意図」を共通軸に据え、事業開発を担うメンバー、レビューを行う管理職、意思決定を担う役員を対象とした育成プログラムを実施しました。

メンバー向けには、新規事業の基礎知識を学ぶインプットに加え、実際の事業テーマを用いて顧客課題の整理や提供価値の明確化、事業モデルの構築、検証計画の策定を実践。事業仮説を具体化しながら、事業開発の進め方を学ぶ機会を提供しました。

管理職向けには、メンバーとの対話やレビューを通じて企画を前進させるための視点や関わり方を習得するプログラムを実施。役員向けには、事業の戦略的な位置づけや将来性をどのように評価するかについて理解を深める機会を設けました。

それぞれの立場に応じた学習機会を提供すると同時に、共通のフレームワークを活用することで、企画の創出から評価、意思決定までを一貫した視点で進められる状態を目指しました。



問い合わせ先　パーソルイノベーション株式会社　広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp

■成果

研修3か月後も66.7%が業務で活用　実テーマを通じて事業企画を具体化

受講チームは、自社の実際の事業テーマをもとに顧客課題や提供価値、事業モデルを整理した企画資料を作成し、一部のチームでは事業仮説を検証するための具体的な検証計画まで策定しました。また、最終発表では実際の商品企画の承認プロセスに沿って役員へ提案を行い、事業化に向けた論点整理やフィードバックを受けました。

さらに、研修直後のアンケートでは、業務関連度、業務活用度ともに96.9%が肯定的に回答し、学習内容を実務に活かせるとの評価が得られました。また、研修3か月後のアンケートでは、回答者の66.7%が学んだ内容を業務で活用できていると回答。展示会コンテンツの企画や新たなソリューション提案における価値訴求の検討など、実務での活用事例も報告されました。

あわせて、研修後のアンケート結果や活用状況、受講者の声を分析した結果、事前の顧客理解の強化、企画を磨くためのレビュー機会の確保、研修後の実践機会づくりといった改善の方向性も明らかになりました。育成施策の効果測定に加え、学びの定着をさらに高めるための改善ポイントも整理されています。

■プログラム概要

導入企業：大手電機メーカー
活用サービス：事業開発人材育成
対象：　事業開発に関わるメンバー・レビュワー　計32名（管理職・役員を含む）
実施期間：2025年10月～12月
支援範囲：育成要件の整理、個社向けプログラム設計、研修・講師との壁打ち・成果物レビュー、実施結果の分析・改善提案

■『ビルスピ』について　＜ https://www.buildspi.jp/ ＞

『ビルスピ（旧：TECH PLAY Academy）』は、「変革は、外注できない。」をスローガンに、企業のDX人材育成を支援するサービスです。ツールや知識の習得で終わることなく、現場活用と定着にこだわり、これまでに大手企業100社以上で研修を実施し、満足度95%超、リピート率90%超を実現。

生成AI、データサイエンス、事業開発、エンジニアなど各分野の専門家が設計した「オーダーメイド型」研修で、業務課題に直結する"成果を生み出す人材"を育成しています。

＜事例サイトURL＞

https://www.buildspi.jp/usecase/electronicsmanufacturer

■パーソルイノベーション株式会社について＜ https://persol-innovation.co.jp/ ＞

パーソルイノベーション株式会社は、パーソルグループの次世代の柱となる事業創造を目的に、2019年4月に事業を開始しました。世の中で見過ごされてきた“誰かが解くべき”はたらく領域の課題に向き合っています。まずは、フロントラインワーカー※1向けの転職/採用支援に取り組むべく若年層・未経験者向け転職支援サービス『ピタテン』やドライバーに特化した転職エージェントに注力します。また、約10万件※2の求人情報を人材紹介会社に開放する求人データベース事業『HITO-Linkエージェント』など業界のパラダイムシフトとなるようなサービスも展開していきます。今後も新たな価値創出を通じて、はたらくの常識をアップデートし続けてまいります。

※1 フロントラインワーカー：物流・運送、製造、建設、小売、飲食、介護など、人々の生活や社会インフラを支える現場業務に従事する職種の総称。

※2 当社調べ。2026年7月末時点の『HITO-Linkエージェント』データベース掲載求人を対象に、複数媒体の重複求人を除いて集計した求人数。

問い合わせ先　パーソルイノベーション株式会社　広報室
TEL：03-6757-4259 MAIL：pino_pr@persol.co.jp